



北の台小学校PTAの“わいわいサークル”に協力

北の台小学校PTA（大塚洋二会長）が主催する恒例の“わいわいサークル”が、今年は10月31日（土）に同校グラウンドを会場として午前10時から午後1時まで行なわれた。

この催しは、子ども達と地域の皆さんとの交流を目的として同校のPTAが毎年実施しているもので、PTAを中心に校区の大上地区社協や大上自治会、大上地区青少年健全育成会等の9団体が協力し、つきたての餅や焼きそば、とん汁、らくがきせんべい、そして3年生が農業体験授業で収穫した野菜等を販売。また昔遊びやダンスキッズによるダンスの発表、そして大塚会長や若い先生方によるパフォーマンスもあって大いに盛り上がり、子ども達や保護者と近隣の千人以上の皆さんが秋のひと時を楽しんでいました。



顔を描いた風船がいっぱいの竹竿

大上地区社協は、今年も「みんなが仲良くなる木」と題して子ども達が風船に自由に顔を描いて大きな竹竿に取付け、顔を寄せ合ってみんな仲良しを表現した“創作ゲーム”で参加し、用意した350個の風船は早々に終る盛況でした。また学校から、大上地区社協が行事で使っている舞台の設営も依頼され、グラウンドに特設ステージを作って協力し、催しを盛り上げていました。

ファミリー秋祭りに今年も協賛

大上3丁目にある障がい者の通所施設のファミリーは、今年で7回目を迎えた“ファミリー秋祭り”を10月31日（土）に午前10時30分から午後2時まで行ないました。

ファミリーは、地域活動支援センターとして綾瀬市の補助金で運営している障がい者の通所施設で、当日は通所者が作った味噌やしおり等の自主製品の販売や協賛団体が出店したフランクフルト、味噌田楽、鈴カステラやコーヒー等が販売され、笠間市長も訪れて地域の大勢の皆さんと一緒に買い求めています。また子どもコーナーもあり、集まった子ども達はゲームを楽しんでいました。



子ども達も参加した秋祭り

大上地区社協は、大上自治会や綾北地区民生委員児童委員協議会等と共に協賛しており、ファミリーがある9区の奥田理事が今回も実行委員として参画しています。

大上地区社協と理事10名が表彰される

本年度の綾瀬市社会福祉表彰式は、10月10日（土）午前10時からオーエンス文化会館小ホールに笠間市長、増田市社協会長など関係者多数が出席して行なわれた。

この表彰式は、綾瀬市と市社会福祉協議会が主催して毎年行なわれ、地域福祉活動に永年にわたって功労のあった団体と個人を表彰するもの。本年度は大上地区社協など17団体と、個人での大上地区社協の市ノ澤会長、木村副会長など理事10名を含めた60名が表彰された。

表彰された大上地区社協は、平成17年に設立して以来10年間にわたって地域のボランティア団体として活動してきた実績が評価される一方、設立時から10年間、地域のために活動してきた役員の理事10名が表彰された。個人で表彰されたのは、次の10名です。



大上地区社協も表彰される

市ノ澤寅夫、木村楊子、吉澤靖夫、今井和治、廣田博美、峯下忠義、松本信之、青俊三、岩月好三、岡田章